

令和２年度公益財団法人静岡県文化財団事業計画

Ⅰ 基本方針

静岡県文化財団は、県の「ふじのくに文化振興基本計画」を踏まえ、グランシップの指定管理事業を適切に実施し、各種文化振興事業を推進している。

令和２年度は、第４期（平成 29～令和 3 年度）グランシップ指定管理期間の４年目に当たり、「上質で多彩をより身近に」「県民との繋がりと広域的な協働・交流」「安全・安心・快適な施設運営と経営の安定化」「働きやすい職場づくり」の４つの基本を柱に、より効率的・効果的な事業展開を図り、これまでの成果を検証する。

また、文化芸術の創造拠点であるグランシップは令和２年９月から令和３年９月まで特定天井改修工事（全館工事：令和２年９月～令和３年２月、一部工事：令和３年３月～９月）による長期休館を控えている。この間に、休館後の再オープンを見据え、県とともに文化財団の役割を再構築し、県内市町・文化団体との協働・連携を推進する。

また、県と一体となり老朽化設備の修繕・更新を計画的に推進し、貸館サービスの拡充と積極的な営業活動に取り組むものである。

１ 上質で多彩をより身近に

- ・県と連携して、文化芸術の振興 ―本県の文化の創造、発展、普及― を図るため、「上質」で「多彩」な企画事業を、グランシップを中心に、県内各地の公立文化施設等で開催する。

２ 県民との繋がりや広域的な協働・交流

- ・平成 30 年度から開始した「めぐりアート+（プラス）」、令和元年度から始まった県内プロオーケストラと協働による「子どもが文化と出会う機会創出事業」など、県立美術館、県舞台芸術センター（SPAC）などを縦系に、大学、高校及び中学等の学校、市町の公立文化施設、文化芸術団体、アーティスト、マスコミ、企業を横系にし、県内関係者との連携を強化する。
- ・「音楽の広場」、「トレインフェスタ」や、静岡県文化プログラム推進委員会と協働する県域プログラムの「伝統芸能フェスティバル」に取り組むなど、県内外の様々な組織、個人とネットワークを構築しながら東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて本格化する文化プログラム推進とその後に残るレガシーづくりを担っていく。
- ・ふじのくに文化情報センターは、情報発信や補助制度などの活動を通じて、県民の文化芸術活動を積極的に支援する。
- ・県、するが企画観光局、市町の公立文化施設や展示施設などの関係機関と連携し、首都圏から大規模コンベンションを共同誘致する。

３ 安全・安心・快適な施設運営と経営の安定化

- ・ユニバーサルデザインに配慮した運営や故障個所の迅速な修繕、防災訓練の実施などにより、利用者にとって安全・安心・快適な施設運営に努める。
- ・長期休館を控えるが、収入の確保と経費の節減に努め、効率的・効果的な運営を図る。

４ 働きやすい職場づくり

- ・働き方改革を推進するため、職員の労働時間の適切な管理や育児休業制度の運用、また、育児・介護等を理由に退職した職員を再雇用できる制度を設けるなど仕事と生活の両立に努める。

II 事業概要

1 文化芸術の振興事業

(1) グランシップ企画事業

子どもを中心に地域、世代、障がいの有無に関わりなく、幅広く県民が文化芸術に触れる場づくりのため、4つの戦略目標である、音楽を中心とした現代舞台芸術、伝統芸能、文芸・美術、子ども・子育て世代への支援の実現に向け、上質で多彩な鑑賞事業、県民参加型事業、教育普及事業、アウトリーチ事業を推進する。推進にあたっては、初めて文化芸術に触れた際に誰もが感動するよう、事業の質をできる限り担保し、当館の独自性を高め、さらなるグランシップブランドの形成を図る。

上半期（令和2年9月まで）は、「ふじのくに伝統芸能フェスティバル」、「詩と舞踊と音楽の祭典『ふじのくにものがたり』」、「音楽の広場」、「NHK交響楽団×野平一郎プロジェクトシリーズⅢ」等、他団体と連携した文化プログラム事業の推進を最重点課題として実施する。

令和2年9月からの長期休館中には、より身近な場所で文化芸術に触れる機会を創出するため、県内の市町や団体との積極的な事業の連携を図り、芸術公演が少ない地域や学校での出前公演やアウトリーチを積極的に展開する。

【戦略目標別の内訳】※カッコ内は再掲

戦略目標	事業本数	入場参加者数
① 音楽文化等の普及・振興	24 事業	21,480 人
② 伝統芸能の継承	18 事業	7,370 人
③ 文芸・美術等の振興	4 事業	1,250 人
④ 子ども・子育て世代への支援	3 事業 (28 事業)	45,200 人 (9,450 人)
合 計	49 事業 (28 事業)	75,300 人 (9,450 人)

【事業形態別の内訳】

方 針	事業本数	入場参加者数
ア 上質で多彩な鑑賞事業 ・国内外の上質で多彩な芸術を鑑賞する機会の提供	16 事業	10,630 人
イ 誰もが参加できる県民参加型事業 ・県民がステージに立つことのできる場の提供	9 事業	57,100 人
ウ 関心・理解・親しみを深める教育普及事業 ・文化芸術の素晴らしさを体感し、さらなる興味を持ってもらう機会の提供	10 事業	6,070 人
エ ワークショップから公演まで様々なアウトリーチ事業 ・普段文化施設に来られない、あるいは生の文化芸術に触れる機会が少ない地域や学校等での公演実施	14 事業	1,500 人
合 計	49 事業	75,300 人

① 音楽文化等の普及・振興（24 事業、21,480 人）

ア 上質で多彩な鑑賞事業（★中高生鑑賞プラン対象、☆学生・こども設定）

	事業名	月日	中高生鑑賞等	会場	入場者数	内 容
1	グランシップ世界の子ども劇場 2020	5/5 (火・祝) ～6 (水・休)	☆	中ホール	700	世界で活躍する劇団による児童公演
2	NHK 交響楽団×野平一郎プロジェクト シリーズⅢ	8/22(土)	★☆	中ホール	900	NHK 交響楽団と野平一郎氏の コラボコンサートの完結編 出演:NHK 交響楽団他
3	【出前公演】 カニサレス～情熱のフラメンコ・ギター～	9/11(金)	★☆	焼津文化会館	470	世界的なフラメンコ・ギター奏者による コンサート 出演:ファン・マヌエル・カニサレス他
4	【出前公演】 ～本と音楽の素敵な出会い～ 「マチネの終わりに」平野啓一郎他	11/28 (土)	★☆	袋井市 月見の里 学遊館	360	ベストセラー小説を題材としたトークと 演奏、文学と音楽のクロスオーバー公演 出演:平野啓一郎他
5	【出前公演】 シュトゥットガルト 室内管弦楽団名曲コンサート	12/5(土)	★☆	大井川 文化会館 ミュージコ	850	歴史あるドイツの名門室内オーケストラ によるクラシックコンサート 出演:シュトゥットガルト室内管弦楽団
6	【出前公演】グランシップ プレミアム・ クリスマス・ジャズ・ライブ 渡辺貞夫	12/6(日)	★☆	浜北文化センター	1,100	日本ジャズ界を代表する渡辺貞夫と 世界的なジャズミュージシャンの共演 出演:渡辺貞夫他
7	【出前公演・共催公演】 グランシップ&静響 ニューイヤーコンサート(2 公演)	1/8(金)	-	静岡 市民文化会館	1,900	地元プロオーケストラによる新春を祝う クラシックコンサート 出演:静岡交響楽団
8	【出前公演】 オーケストラ・アンサンブル金沢 名曲コンサート	1/24(日)	★☆	三島 市民文化会館	950	国内有数のアンサンブル・オーケストラ による名曲コンサート 出演:オーケストラ・アンサンブル金沢他
9	【出前公演】仲道郁代 大作曲家のひみつ「ショパン」	2/20(土)	★☆	沼津 市民文化センター	500	ショパンをテーマに解説とピアノ演奏 による公演 出演:仲道郁代他
10	【出前公演】上野耕平×三浦一 馬×山中惇史トリオ	2/23 (火・祝)	★☆	長泉町 文化センター ヘルフォーレ	700	若手奏者として各ジャンルで人気・ 実力とも No.1 のトリオによるコンサート 出演:上野耕平他
計	10 事業				8,430	

イ 誰もが参加できる県民参加型事業（★中高生鑑賞プラン対象、☆学生・こども設定）

	事業名	月日	中高生鑑賞等	会場	入場者数	内 容
11	【提携公演】 詩と舞踊と音楽の祭典 『ふじのくにものがたり』	7/26(日)	-	中ホール	600	県文化プログラム県域プログラムとして、 詩と現代舞踊、音楽のコラボ公演 台本・演出:大岡淳、監修:佐藤典子
12	グランシップ音楽の広場 2020	8/2(日)	★☆	大ホール	5,000	本県ゆかりの 600 人による大オーケストラ ・合唱団による県民参加型コンサート 指揮:広上淳一
13	グランシップ ビッグバンド・ジャズ・ フェスティバル 2020	8/9(日)	-	大ホール	1,300	アマチュアビッグバンドによるジャズ・ フェスティバル
14	【共催公演】 SPAC「忠臣蔵 2020」	8/16(日)	-	大ホール	1,500	県文化プログラム県域プログラムとして、 県民参加型舞台、16 年振りの再演 作:平田オリザ、総合演出:宮城聡
15	宮城まりことねむの木の子ども たちサマーコンサート	8/30 (日)	★	中ホール	800	多様な価値観を表現し、尊重する 環境づくりを目的としたコンサート 出演:宮城まり子、ねむの木学園他
計	5 事業				9,200	

ウ 関心・理解・親しみを深める教育普及事業（★中高生鑑賞プラン対象、☆学生・こども設定）

	事業名	月日	中高生鑑賞等	会場	入場者数	内 容
16	登録アーティスト事業	5/3(土) 他	-	エントランス他	1,000	企画事業のサブイベントとしてのミニコンサート等
17	親子で楽しむロビーコンサート	6月他	-	3階共通ロビー	200	誰でも気軽に楽しめるロビーコンサート 出演:グランシップ登録アーティスト他
18	第41回学生音楽コンクール2019(本選)	8/16(日)	-	中ホール	400	県内学生を対象とした音楽コンクール
19	ウィーン国際文化協会教育普及事業	10月	★☆	浜松市内	600	ウィーンを拠点に活躍する演奏家による高校生向けのクリニックと合奏 出演:ウィーン国際文化協会アンサンブル
20	【出前公演】ふれあいコンサート	11/14(土)	-	掛川市 美感ホール	200	0歳児とその家族が気軽に楽しめるコンサート 出演:ALBOS トリオ他
21	【出前公演】中学生のためのオーケストラ(2公演)	1/25(月)	-	三島 市民文化会館	1,150	県内中学生を招待し上質なオーケストラ音楽を体験してもらうクラシックコンサート 出演:オーケストラ・アンサンブル金沢他
計	6事業				3,550	

エ ワークショップから公演まで様々なアウトリーチ事業（★中高生鑑賞プラン対象、☆学生・こども設定）

	事業名	月日	中高生鑑賞等	会場	入場者数	内 容
22	【グランシップ子どもアート体験！】登録アーティストアウトリーチ	5月～3月	-	小中学校、特別支援学校等	200	グランシップ登録アーティストによる少人数向けミニコンサート 講師:グランシップ登録アーティスト
23	仲道郁代常葉連続レクチャー	未定	-	常葉大学	50	常葉大学と連携して実施する音楽レクチャー 講師:仲道郁代
24	上野耕平×山中惇史ミニコンサート(1校)	未定	-	未定	50	本公演に付随したアウトリーチ 講師:上野耕平、山中惇史
計	3事業				300	

② 伝統芸能の継承（18事業、7,370人）

ア 上質で多彩な鑑賞事業（★中高生鑑賞プラン対象、☆学生・こども設定）

	事業名	月日	中高生鑑賞等	会場	入場者数	内 容
1	【出前公演】人形浄瑠璃 文楽(2公演)	10/11(日)	★☆	大井川文化会館 ミュージコ	900	文楽協会による人形浄瑠璃公演 出演:人形浄瑠璃文楽座 演目:二人三番叟他
2	【出前公演】グランシップ静岡能	1/24(日)	★☆	菊川文化会館 アエル	600	本格的な能楽公演 出演:観世流能楽師
3	【出前公演】につぼんこども劇場	未定	☆	御殿場 市民文化会館	500	子どもたちが触れる日本の優れた伝統芸能と話芸の公演 出演:武田祥照、林家正蔵、玉川奈々福他
4		未定	☆	下田 市民文化会館		
5		2/19(土)	☆	大日本報徳社		
計	5事業				2,000	

イ 誰もが参加できる県民参加型事業

	事業名	月日	中高生鑑賞等	会場	入場者数	内 容
6	ふじのくに伝統芸能フェスティバル	5/31(日)	-	富士宮 市民文化会館他	2,000	県文化プログラム県域プログラムとして、 県内外の民俗芸能フェスティバル
計	1 事業				2,000	

ウ 関心・理解・親しみを深める教育普及事業（★中高生鑑賞プラン対象、☆学生・こども設定）

	事業名	月日	中高生鑑賞等	会場	入場者数	内 容
7	国立劇場 歌舞伎鑑賞教室 (2 公演)	6/23(火)	★☆	中ホール	1,500	国立劇場の歌舞伎出張公演
8	【出前公演】「人形浄瑠璃文楽 事前レクチャー」山川静夫のここが みどころ・ききどころ	8/26(水)	☆	焼津文化会館	120	文楽公演に連動した事前講座 講師:山川静夫
9	【出前公演】ｸﾞﾗﾝｼｯﾌﾟ 静岡能 能楽入門公演	9/26(土)	★	菊川文化会館 アエル	700	初心者向けの能楽公演 出演:観世流能楽師
計	3 事業				2,320	

エ ワークショップから公演まで様々なアウトリーチ事業

	事業名	月日	中高生鑑賞等	会場	入場者数	内 容
10	【ｸﾞﾗﾝｼｯﾌﾟ子どもアート体験！】 人形浄瑠璃文楽出前講座(2 校)	6/30(火)~ 7/1(水)	-	小中学校、 特別支援学校等	150	文楽協会の協力による文楽講座 ＊伝統芸能普及プログラムの一環 講師:人形浄瑠璃文楽座
11	【ｸﾞﾗﾝｼｯﾌﾟ子どもアート体験！】 宝井馬琴監修講談教室(3 校)	未定	-		240	本県出身の6代目宝井馬琴監修の 講談教室 講師:宝井琴星、宝井琴鶴
12	【ｸﾞﾗﾝｼｯﾌﾟ子どもアート体験！】 玉川奈々福の浪曲教室(2 校)	未定	-		100	小学生向けの浪曲教室 講師:玉川奈々福、曲師
13	【ｸﾞﾗﾝｼｯﾌﾟ子どもアート体験！】 狂言ワークショップ(1 校)	未定	-		80	小学生向けの狂言教室 ＊伝統芸能普及プログラムの一環 講師:三宅右矩他
14	伝統芸能普及プログラム ＜教育普及＞歌舞伎レクチャー	未定	-	中学・高校・ 大学等	300	大学等との連携による伝統芸能 ワークショップ
15	伝統芸能普及プログラム ＜大学連携＞ 伝統芸能の実演とレクチャー	未定	-		50	
16	伝統芸能普及プログラム ＜大学連携＞歌舞伎レクチャー	未定	-		40	
17	伝統芸能普及プログラム ＜大学連携＞文楽レクチャー	未定	-		40	
18	伝統芸能普及プログラム ＜大学連携＞ 触れてみよう能楽師	未定	-		50	
計	9 事業				1,050	

③ 文芸・美術等の振興（4事業、1,250人）

ア 上質で多彩な鑑賞事業（★中高生鑑賞プラ対象、☆学生・こども設定）

	事業名	月日	中高生鑑賞等	会場	入場者数	内 容
1	2020年しずおか連詩の会	11/15(日)	★	裾野市民文化センター	200	本県ゆかりの詩人・大岡信氏が提唱した連詩の創作と発表 出演：野村喜和夫他
計	1事業				200	

イ 誰もが参加できる県民参加型事業

	事業名	月日	中高生鑑賞等	会場	入場者数	内 容
2	グランシップ誰もがWonderfulアート	8/22(土)～9/6(日)	-	展示ギャラリー	900	県内の特別支援学校児童・生徒による作品展等
計	1事業				900	

ウ 関心・理解・親しみを深める教育普及事業

該当なし

エ ワークショップから公演まで様々なアウトリーチ事業

	事業名	月日	中高生鑑賞等	会場	入場者数	内 容
3	詩人と語ろう！言葉を語ろう！	未定	-	未定	30	しずおか連詩の会に連動した詩人と交流するワークショップ 講師：連詩の会参加詩人他
4	【グランシップ子どもアート体験！】 連詩をつくろう！ワークショップ(2校)	未定	-	小中学校、高校等	120	しずおか連詩の会参加詩人による連詩の創作ワークショップ 講師：連詩の会参加詩人他
計	2事業				150	

④ 子ども、子育て世代の支援（3事業・45,200人、再掲…28事業・9,460人）

ア 上質で多彩な鑑賞事業（★中高生鑑賞プラ対象、☆学生・こども設定）

	事業名	月日	中高生鑑賞等	会場	入場者数	内 容
1	【再掲】 グランシップ世界のこども劇場 2020	5/5(火・祝)～6(水・休)	☆	中ホール	(700)	世界で活躍する劇団による児童公演
2	【再掲】【出前公演】 につぼんこども劇場	未定	☆	御殿場市民文化会館	(500)	子どもたちに日本の優れた伝統芸能と話芸に触れる機会を提供 出演：観世流能楽師武田祥照、林家正蔵、玉川奈々福他
3		未定	☆	下田市民文化会館		
4		2/19(土)	☆	大日本報徳社		
計	(再掲…4事業)				(1,200)	

イ 誰もが参加できる県民参加型事業（★中高生鑑賞プログラム対象、☆学生・こども設定）

	事業名	月日	中高生鑑賞等	会場	入場者数	内 容
5	グランシップこどものくに	5/3(日・祝) ～6(水・休)	-	大ホール他	15,000	手作業や身体感覚を使って親子で楽しむ体験型イベント
6	グランシップトレインフェスタ 2020	5/16(土)、 17(日)	-	全館	30,000	鉄道模型コーナーやミニ列車乗車会等、家族で楽しめる日本最大級の鉄道イベント
7	【再掲】 グランシップ誰もが Wonderful アート	8/22(土) ～9/6(日)	-	展示ギャラリー	(900)	県内の特別支援学校児童・生徒による作品展等を開催
8	【再掲】 宮城まりこねむの木の子どもたちサマーコンサート	8/30(日)	★	中ホール	(800)	多様な価値観を表現し、尊重する環境づくりを目的としたコンサート 出演：宮城まり子、ねむの木学園他
計	2 事業 (再掲…2 事業)				45,000 (1,700)	

ウ 関心・理解・親しみを深める教育普及事業（★中高生鑑賞プログラム対象、☆学生・こども設定）

	事業名	月日	中高生鑑賞等	会場	入場者数	内 容
9	【再掲】 登録アーティスト事業	5/3(土) 他	-	エントランス他	(1,000)	企画事業のサブイベントとしてのミニコンサート等
10	【再掲】 国立劇場 歌舞伎鑑賞教室 (2 公演)	6/23(火)	★☆	中ホール	(1,500)	国立劇場の歌舞伎出張公演
11	【再掲】 親子で楽しむロビーコンサート	6 月他	-	3 階共通ロビー	(200)	誰でも気軽に楽しめるロビーコンサート 出演：グランシップ登録アーティスト他
12	【再掲】 第 41 回学生音楽コンクール 2019 (本選)	8/16(日)	-	中ホール	(400)	県内学生を対象とした音楽コンクール
13	【再掲】 ウィーン・アンサンブル	10/16(金)	★☆	浜松市内	(600)	ウィーンを拠点に活躍する演奏家による高校生向けのクリニックと合奏 出演：ウィーン国際文化協会アンサンブル
14	【再掲】【出前公演】 ふれあいコンサート	11/14(土)	-	掛川市 美感ホール	(200)	0 歳児とその家族が気軽に楽しめるコンサート 出演：ALBOS トリオ他
15	【再掲】【出前公演】 中学生のためのオーケストラ (2 公演)	1/25(月)、	-	三島 市民文化会館	(1,150)	県内中学生を招待し上質なオーケストラ音楽を体験してもらうクラシックコンサート 出演：オーケストラ・アンサンブル金沢他
16	グランシップ文化講座(2 回)	未定	★☆	未定	200	最先端の科学技術や社会問題等をテーマとした講座
計	1 事業 (再掲…7 事業)				200 (5,050)	

エ ワークショップから公演まで様々なアウトリーチ事業

	事業名	月日	中高生鑑賞等	会場	入場者数	内 容
17	【再掲】 【グランシップ子どもアート体験！】 登録アーティストアウトリーチ	5 月～3 月	-	小中学校、 特別支援学校等	(200)	グランシップ登録アーティストによる 少人数向けミニコンサート 講師：グランシップ登録アーティスト
18	【再掲】 仲道郁代連続レクチャー	未定	-	常葉大学	(50)	常葉大学と連携して実施する 音楽レクチャー 講師：仲道郁代
19	【再掲】 上野耕平×山中惇史ミニコンサート (1 校)	未定	-	未定	(50)	本公演に付随したアウトリーチ 講師：上野耕平、山中惇史

	事業名	月日	中高生鑑賞等	会場	入場者数	内 容
20	【再掲】 【グランシップ 子どもアート体験！】 人形浄瑠璃文楽出前講座(2校)	6/30(火) - 7/1(水)	-	小中学校、 特別支援学校 等	(150)	文楽協会の協力による文楽講座 ※伝統芸能普及プログラムの一環 講師:人形浄瑠璃文楽座
21	【再掲】 【グランシップ 子どもアート体験！】 宝井馬琴監修講談教室(3校)	未定	-		(240)	本県出身の6代目宝井馬琴監修の 講談教室 講師:宝井琴星、宝井琴鶴
22	【再掲】 【グランシップ 子どもアート体験！】 玉川奈々福の浪曲教室(2校)	未定	-		(100)	小学生向けの浪曲教室 講師:玉川奈々福、曲師
23	【再掲】 【グランシップ 子どもアート体験！】 狂言ワークショップ(1校)	未定	-		(80)	小学生向けの狂言教室 ※伝統芸能普及プログラムの一環 講師:三宅右矩他
24	【再掲】伝統芸能普及プログラム ＜教育普及＞歌舞伎レクチャー	未定	-	中学・高校・ 大学等	(300)	大学等との連携による伝統芸能 ワークショップ
25	【再掲】伝統芸能普及プログラム ＜大学連携＞ 伝統芸能の実演とレクチャー	未定	-		(50)	
26	【再掲】伝統芸能普及プログラム ＜大学連携＞歌舞伎レクチャー	未定	-		(40)	
27	【再掲】伝統芸能普及プログラム ＜大学連携＞文楽レクチャー	未定	-		(40)	
28	【再掲】伝統芸能普及プログラム ＜大学連携＞ 触れてみよう能楽師	未定	-		(50)	
29	【再掲】 詩人と語ろう！言葉を語ろう！	未定	-	未定	(30)	しずおか連詩の会に連動した 詩人と交流するワークショップ 講師:連詩の会参加詩人他
30	【再掲】 【グランシップ 子どもアート体験！】 連詩をつくろう！ワークショップ(2校)	未定	-	小中学校、 高校等	(120)	しずおか連詩の会参加詩人による 連詩の創作ワークショップ 講師:連詩の会参加詩人他
計	(再掲…14事業)				(1500)	

⑤ 新たなグランシップファン獲得のための取り組み

ア 広報・宣伝の展開

広報対象に合わせた実施計画を立てるとともに、販売状況に即応した広報媒体を活用した広報・宣伝を展開する。

また、令和2年9月からの長期休館中にホームページのリニューアル作業に取り組む。

イ 若い世代等の取り込み

若年層への情報発信ツールとしてSNSをはじめとしたWEBを活用し、当館の事業に関心を持ってもらい、新たな鑑賞者層の獲得に取り組む。

また、長期休館中にチケット販売における電子マネーの導入に向けた準備を進める。

ウ 中高生等への鑑賞支援策

子どものうちから上質で多彩な文化芸術に身近に触れる機会を提供するため、引き続き、各公演の学生チケット料金(28歳以下の大学生、子ども)を原則1,000円で設定する。

また、中学校、高校の学校行事や部活動等の課外活動による鑑賞の場合には、チケット料金を800円に割引くとともに、中高生芸術鑑賞支援制度により交通費を支援する。

さらに、高校生については、全県高校生を対象とした「高校生アトラリー事業」により、県

下の劇場ホールでの鑑賞機会の増加を図る。

エ 県外への広報

「トレインフェスタ」、「音楽の広場」「こどものくに」など、オリジナル性が高い静岡県を代表する事業を、首都圏等でPRし、事業の認知度を高める。

(2) 文化支援

ふじのくに文化情報センターの活動を通じて、県民の文化芸術活動を積極的に支援する。また、グランシップ企画事業を活用した人材育成に取り組む。

① ふじのくに文化情報センター

文化支援の県域のセンターとして、県内各地で活動する文化団体の情報発信や活動支援、文化団体相互の交流の場づくりを行う。

なお、長期休館中も、県内各地の文化活動の情報発信を行うため営業を継続する。

ア 静岡県文化情報サイト「ふじのくに文化情報」の利用促進

より魅力的で注目される Web サイトとなるよう、コンテンツの再整理を行い、利用促進を図る。

イ 総合相談窓口の運営

面接、電話、メールによる総合相談窓口を設置・運営し、センター長による窓口相談を定期的に実施する。

ウ 交流と研修の場づくり

長期休館中は、「ふじのくに文化情報フォーラム」を県東部、西部地域で開催する。

「こかげのまなびば」は、関係団体等と連携し、グランシップ以外の会場でも開催する。

エ 文化活動団体の顕彰等

新たな地域文化の創造を目指す多彩で優れた文化活動団体を顕彰するとともに、県内の文化活動を発展させるため、文化団体に助成（ふじのくに文化プログラム推進事業助成）する。

地域文化活動賞

	内 容
募 集 期 間	令和2年8月～9月
対 象	地域文化を育て、文化の香り高い郷土づくりに貢献し、県内に活動の本拠を置く文化団体
選 考	地域文化活動賞選考委員会
賞	地域文化活動賞 1件 賞状、賞金10万円、楯 地域文化活動奨励賞 若干 賞状、賞金2万円、楯 地域文化活動努力賞 若干 賞状、賞金1万円、楯

② グランシップ企画事業を活用した人材育成

県内の公立文化施設職員の資質向上や交流を促進し、地域の文化活動団体、アウトリーチに係る教育関係者、福祉関係者、文化行政関係者とのネットワークを強化するため、「静岡県公立ホール連携支援研修事業」や大学生を対象としたインターンシップを実施する。

また、実演による文化芸術を県内各地で提供するため、グランシップ登録アーティストを活用して、県内公立文化施設と連携しながら、音楽アウトリーチを実施する。

	公立ホール連携支援研修	登録アーティスト アウトリーチ	インターンシップ
対 象	県内の公立文化施設職員	県内小学校、特別支援学校の児童、生徒	大学生
期 間	令和2年6月～ 令和3年3月	令和2年9月～ 令和3年2月	令和2年6月～9月
募集人員	10人程度	200人	25人

さらに、財団が文化支援事業やグランシップ企画事業で培ってきたノウハウを活かして、引き続き、県から受託する「子どもが文化と出会う機会創出事業」を、県内のプロオーケストラと協働し、県内各地を巡る地域訪問プログラムや未就学児対象コンサートとして実施する。

(3) 文化プログラムに対する取り組み

① グランシップ文化プログラム

グランシップオリジナル文化プログラムとして、「トレインフェスタ」、「世界のこども劇場」、「音楽の広場」、「NHK交響楽団×野平一郎プロジェクトシリーズⅢ」、「宮城まりことねむの木子どもたちサマーコンサート」等を実施する。

② 関係機関と連携した文化プログラム

国、組織委員会、静岡県文化プログラム推進委員会との連携し、全県的なオリンピック・パラリンピックムーブメントの醸成に努める。

財団では、富士宮市と連携した県域プログラム「伝統芸能フェスティバル」を5月に実施する。また、県内の文化プログラムの拠点として提携公演制度等を活用して、県域プログラム「詩と舞踊と音楽の祭典『ふじさんものがたり』」、「SPAC『忠臣蔵』」を支援する。

③ 文化力プロジェクト環境整備事業

ア ふじのくに文化プログラム推進事業助成

東京オリンピック・パラリンピック大会の開催を控え、県内の多彩な文化芸術活動や「ささえる」活動を県内外に発信するため文化団体に対して助成する。また、団体補助の交付団体を対象に定期的に面談を実施し、事業活動の進捗確認や伴走支援を行う。

項 目		内 容	
メニュー	事業補助	団体補助	
		「ささえる」活動団体の自立に向けた活動	しずおかの文化芸術団体のステップアップ活動
補助対象事業・活動	1 住民参加型芸術文化事業 2 広域的芸術文化事業 3 国際文化交流事業	「ささえる」活動を主たる目的としている団体の組織の自立に繋がる投資的な活動	舞台芸術をはじめとする文化活動の分野において、静岡県を代表する文化芸術団体の育成に繋がる投資的な活動
補助対象者	個人又は団体	「ささえる」活動団体	文化活動団体
補助期間	単年度	複数年度(原則3年、5年が限度)	
補助額	上限30万円 (自己負担額1/3以内)	上限30万円、翌年度以降通減	
募集	年1回		
審査方法	書類審査	書類及び対面審査	
審査員	有識者及び財団役員等		

イ 本県の魅力掘り起こしと発信に係る事業

県内の文化資源の存在や価値を再発見し、県民の共有財産として後世に伝えていくため、書籍「しずおかの文化」を制作、配布する。

ウ 次世代を担う中高生が文化芸術に触れる機会を創出する事業

文化プログラム推進するとともに、次世代を担う県内の中高生に、上質で多彩な文化芸術に触れてもらう機会を創出する事業を展開する。

なお、9月以降の全館休館中に実施する他館での出前公演も含めて、グランシップ企画事業の鑑賞に要する交通費を全額支援する。

2 グランシップ管理運営事業

(1) 貸館

本県における学術、文化、芸術の振興と国内外との交流促進のため、コンベンションの積極的な誘致を行うとともに、ふじのくに文化振興基本計画の重点施策のひとつである「ささえる」視点から貸館事業を実施する。

区 分	概 要
積極的な営業活動	・ 公益目的催事の誘致 ・ リピーターや新規利用者への全館休館後の広報・営業の充実 ・ 県スポーツ・文化観光部や他施設との連携による営業活動の実施
大規模催事誘致	・ 過去の主催者、利用者への働きかけ ・ 国際ミーティング・エキスポ（IME）への出展
顧客サービスの一層の向上	・ 催事開催支援サービスの拡充 ・ 利用者ニーズの把握

① 積極的な営業活動

貸館催事期間外予約制度を活用するなど、グランシップの公益目的催事である文化・芸術・学術催事を積極的に誘致する。

長期休館後の貸館利用者を拡大するため、リピーターを中心とした顧客に対し、効果的・効率的な広報ならびに営業活動を実施するとともに、県内放送局事業部やプロモーターに対し積極的な情報提供を行う。

県や県内文化施設と連携し、県内の文化芸術団体や大学等が主催する公益目的催事を誘致するとともに、県内企業等を直接訪問し積極的な営業活動に取り組む。

② 大規模催事の誘致

過去にグランシップで国際大会・国内大会を実施した主催者・団体やコンベンション企画運営事業者（PCO）などに対し、定期的な情報収集や営業活動に取り組む。

県や県内他施設と連携して国際ミーティング・エキスポ（IME）に出展し、大規模催事に関する広報・商談・情報収集を行う。

③ 利用者サービスの一層の向上

催事開催支援サービス（ワンストップサービス）については、開始以来、年々利用が増加しているが、一層のサービス向上のため、休館時を利用してサービス内容の拡充を図る。

利用者ニーズ把握のため、利用者会議を開催するとともに全ての利用者に対してアンケート調査を実施して、利用者のニーズを把握・分析し、的確に対応する。

(2) 維持管理

① 安全・安心・快適な施設管理

すべての来館者にとって安全な施設であるとともに、安心して快適な空間であるよう、県や施設管理、警備、清掃、舞台技術の委託業者と連携して適切な管理・運営を図るとともに、計画的な設備更新の実施、故障個所の迅速な修繕に努める。

また、開館以来 20 年が経過し、施設・設備等の全般にわたって経年劣化が進行していることから、県が特定天井改修工事と並行して実施する設備等修繕工事において点検個所の洗い出しや点検方法の見直しを進める。

② ユニバーサルデザインに配慮した施設運営

すべての来館者が、安心して利用できる施設とするため、常に来館者の目線での施設運用の見直しに努める。また、防災訓練の中では、子どもや高齢者、障がいのある方などさまざまな来館者の避難を想定した研修を実施する。

③ 省エネルギーと環境負荷の低減

令和 2 年 9 月からの休館期間中は、電気・ガス使用量の節約に努め、経費削減を図る。さらに、持続可能な開発目標（SDGs）への取り組みとして、省エネルギーを推進し環境に与える負荷を低減するため、エネルギー管理員の主導による効率的なエネルギー運用に取り組む。

④ 賑わい創出

グランシップを訪れたことのない方の来館を促すため、プレミアムフライデー参加事業であるレコードコンサート（無料）や静岡市・静岡県立美術館・静岡市美術館が東静岡駅北側を中心に静岡市内各所を会場に協働で取り組んでいる「めぐりアート」と連携した「めぐりアート+（プラス）」に引続き、取り組む。

⑤ 駐車場管理、自動販売機等管理

利用者へのサービス向上を図り、円滑な駐車場運営ができるよう、委託業者と連携して適切な維持管理を行う。また、館内に自動販売機・公衆電話等を設置、管理する。

なお、JR 線への乗り継ぎのための駐車など当館利用以外の駐車場利用の促進を図るため、駐車場 24 時間営業と利用料金の上限制度を継続し、利便性を高める。

(3) サポート組織

文化振興に関心があり、文化活動に積極的な県民の自主的な参加・参画を得て、グランシップの円滑な事業運営を図る。（令和 2 年 4 月 1 日見込）

業務区分	内 容	登録者数
広 報	ダイレクトメール発送、広報勉強会、来館者見学案内等	66 人
イ ベ ン ト	受付、もぎり、資料配布、会場案内、避難誘導等	61 人
撮 影	イベント・公演時の記録撮影、記録写真の整理等	15 人
託 児	公演時の託児サービス等	9 人
文化情報運営	静岡県文化情報総合サイト「しずおかの文化情報」運営等	19 人
計	※ 兼務含む	170 人

(4) 危機管理とリスクマネジメント

「火災・地震・風水害等の災害が発生した際の対応」を危機管理、また「前記以外の事故・故障・苦情・不審物等のリスクへの対応」をリスクマネジメントと定義し、それぞれの体制を確立して、来館者の安心・安全と信頼の確保に努める。なお、令和2年9月からの休館期間中の取り組みとして、危機管理、リスクマネジメントについてマニュアル整備を進める。

① 危機管理

発災時の迅速な初動態勢の確立と発災後の迅速な事業継続を図るため、毎営業日の自衛消防隊の編成確認と定期的な防災訓練を実施するとともに、危機管理マニュアルの見直しを進める。

また、今年の台風19号や急速に感染が拡大した新型コロナウイルスなどの感染症対応など不測の事態にも対応できるよう準備を行う。

② リスクマネジメント

故障機器類の停止等のリスク回避・低減のため、消耗品の事前交換など適切な維持管理を行う。また異常・故障発生時には、来館者への影響を最小限とするため、適切な応急措置や修繕を直ちに講じ、財団で実施できない大規模な修理・修繕については、県へ迅速に報告・指示を受け対応する。

3 グランシップ友の会

(1) 個人会員

達成した会員1万人への催事情報の提供やチケット斡旋などサービスの向上を図り、一層の会員拡大に努める。また、長期間利用がない会員などの状況確認を行うなど会員の維持管理にも注力する。

(2) 法人会員

グランシップに対する理解を深めてもらうため、各法人会員に担当を割り振り、定期的な訪問活動に取り組む。

4 文化財団法人運営

(1) 広報・宣伝

新聞広告や情報誌「GRANSHIP」、ホームページ等の自己媒体による情報提供をはじめ、ブログやモニター制度等の双方向性のある手段を組み合わせ、効果的な情報発信を促進する。

① 広報調整会議の開催

財団、グランシップ全体の広報・宣伝計画を策定し、毎月1回、広報調整会議を開催し、効率的・効果的な情報発信に取り組む。なお、一方的な広報・宣伝だけでなく、県民や利用者の声を広く集め、運営に反映させるため、アンケートやモニター制度などによりニーズの把握に努める。

② 多様な媒体、手段の活用

既存の媒体とインターネット等を利用した新たな媒体を効率的・効果的に組み合わせながら、若い世代から高齢者まで、様々な世代に合わせた広報・宣伝に取り組む。

【自己媒体】

- ・情報誌「GRANSHIP」（年4回発行、A4判、40P、35,000部）
- ・チラシ・ポスター（グランシップ企画事業の公演ごとに作成）

- ・ ホームページ、メールマガジン、ブログ、ツイッター、フェイスブック等のインターネット系
- ・ 年間イベントカレンダー（グランシップ企画事業の公演紹介、年 1 回発行）
- ・ 財団アニュアルレポート

【広告】

- ・ 新聞・フリーペーパーへの広告（静岡新聞他）
- ・ ラジオ広告（SBS ラジオ、K-MIX、コミュニティ FM）
- ・ 交通広告（JR 東海静岡駅等でのポスター掲示）

【その他】

- ・ 記者会見や記者発表、プレスリリース等
- ・ 公演毎、貸館利用毎のアンケート実施
- ・ グランシップ企画事業のモニター制度（10 人程度、公演鑑賞によるアンケート実施と年 4 回のモニター会議）
- ・ 貸館利用者による利用者会議（年 1 回）

(2) 働きやすい職場づくり

① 人材育成

ア 専門性の高い人材の育成

職員が最新の専門知識、技術を習得できる機会を確保するため、令和 2 年 9 月からの長期休館期間を活用した外部専門研修を実施する。

また、国や県の文化政策の状況、指定管理者事業計画を含めた財団の運営状況、県立文化施設や市町立文化施設、地域の団体等との連携状況など情報について、財団全体で共有化を図るため休館日を活用して定期的に内部職員研修を実施する。

イ 効果的な評価制度の運用

勤務実績が優秀な職員に対しては、特別昇給及び特別研修を実施する。

＊特別研修制度…優秀な職員が自ら、取得したい資格、鑑賞したい文化芸術催事、参考にした施設等を自由に選び、研修計画を立案し、財団は出張費用を負担する制度

② 仕事と生活を両立できる職場づくり

ア 労働時間の適切な管理

労働法令及び労使協定を順守し、職員の出退勤の管理、時間外勤務の事前申請の徹底等による労働時間の適切な管理を行う。

各々の職員が労働時間を自己管理し、生産性の高い業務に取り組むよう、職員研修等を通じて制度の周知、意識啓発を図る。

令和 2 年 9 月からの長期休館中は勤務形態を変更し、全職員が平日通常勤務を基本とする。

イ 健康管理とストレスチェックの実施

労働安全衛生法に基づく職員の定期健康診断や人間ドックの検診を実施するとともに、同法に基づくストレスチェックを実施するなど職員の心身両面での健康管理に努める。

ウ 育児・介護休業制度等の運用

育児・介護休業等に関する規程に基づき、休業制度を適切に運用する。また、育児・介護等を理由に退職した職員の再雇用を図る。

(3) 安定した財務管理

チケットの販売促進や積極的な営業活動、関係機関と連携した大規模催事の誘致、催事開催支援サービスの利用者増による収入の確保のほか、国庫補助金等を活用するため積極的に申請を行う。

また、毎月、月次収支と確認するとともに、上半期終了時に中間決算を実施し、常に財団の財務状況を把握し、適切な対応ができる管理体制を維持する。

(4) 組織体制

(令和2年3月31日現在)

